

SMART GRAMMAR

スマート・グラマー

— 英語の基礎練習ドリル —

FACULTY OF LAW,
TOIN UNIVERSITY OF YOKOHAMA

SANSHUSHA

はじめに

—本書で学ぶ皆さんへ—

やり直しではなく、初めて英語に触れる気持ちでこのテキストを利用してみませんか。やり始めは、「知っているよ、こんなこと」と思うかもしれませんが。でも、なかには「あやふやなまま」理解をしていた箇所を発見するかもしれません。まっさらな頭で基本的な英文法を確実なものにし、それから次のステップに進みましょう。

本書をノート代わりにして、ひたすら「書いて練習」してください。着実に英語に触れ、学ぶことができます。また、練習を通して文法が身につくよう、解説を少量ずつ練習問題に差しはさんでいますので参考にしてください。

本書は、現在形を中心とした英文法のテキストです。現在進行形、過去形等は扱いませんので、安心して飽きるほど「現在形」を勉強してください。

また、このテキストで多く扱っている部分は、「人称代名詞」です。「私のお父さんは先生です」という文を“I father is a teacher.”と英作文する人がいます。“I, my, me, mine”という変化は呪文のように覚えていても、それをどのように使うのかは忘れてしまっている……そんな人のために、簡単で似たような練習問題をたくさん用意しました。繰り返し練習することによって人称代名詞の変化および使い方を覚えていきましょう。

海外旅行は英単語を並べればなんとか言いたいことは伝わるから、英文法なんてやりたくないという人がよくいます。でも、文法無視では正しく伝わるとは限りません。もう一歩進んで、きちんとした表現で会話する楽しみを知ってください。

さらに、できればこのテキストで終わりにしないで、ぜひ次の段階に進んでほしいと思います。本書を使うことによって、独りで継続して英語を勉強する癖を身につけてください。英文法をマスターするためには、ある程度の反復練習は必要です。途中までは苦痛かもしれませんが。でも「この程度」のテキストならば乗り越えられるのではないのでしょうか。どうか面倒くささらず、手を動かし、そして声に出してみてください。

本書が英語を学ぶ上での「踏み台」になり、次のステップ、さらなるジャンプへとつながることを願っています。

著者代表 秋田知子

目次

Introduction	英語について思い出そう 〈アルファベット〉	6
Lesson 1	名詞	10
Lesson 2	be 動詞	16
	REVIEW 1 (復習コーナー 1) be 動詞の復習	24
Lesson 3	一般動詞 (1)	26
Lesson 4	一般動詞 (2)	30
Lesson 5	人称代名詞 (1)	36
Lesson 6	人称代名詞 (2)	44
	REVIEW 2 (復習コーナー 2) 否定文と疑問文の復習	50
Lesson 7	人称代名詞 (3)	52
Lesson 8	形容詞	58
Lesson 9	前置詞 (1)	64
Lesson 10	前置詞 (2)	70
	REVIEW 3 (復習コーナー 3) 人称代名詞・疑問文の復習	76
Lesson 11	疑問詞を使った疑問文	78
Lesson 12	There is ~の文型	84
Lesson 13	命令文	90
	REVIEW 4 (復習コーナー 4) 疑問詞疑問文・形容詞の復習	96
Lesson 14	頻度を表す副詞 〈まとめの問題〉	98

Introduction

英語について思い出そう



アルファベット (alphabet)

1 単語は基本的に小文字を使って書く。

例) coffee, apple

2 ただし、次の場合には大文字を使う。

① 文頭 (英語の文は、大文字で書き始める)

例) He is a student. This is a pen.

② I (私は)

you (You), we (We), he (He), she (She), it (It), they (They) は、最初の文字に大文字と小文字の両方を使うが、「I (私は)」は小文字で書くことはない。

③ 最初の文字だけ大文字にする単語がある。

国名、地名、人名、月の名前、曜日などの固有名詞 (特定の人・物、場所などの固有の名称を示す)

Japan (日本), Yokohama (横浜), Johnny Depp (ジョニー・デップ), July (7月), Monday (月曜日)

問題 1 アルファベットを正確に書いてみよう。

- | | | | | |
|----------|---------|-------------------|--------|-------|
| 1. 自分の名前 | 2. 医者 | 3. 看護師 | 4. 学生 | 5. 駅 |
| 6. 愛する | 7. 住む | 8. 東京 | 9. 日曜日 | 10. 夏 |
| 11. 野球 | 12. テニス | 13. 忙しい (b から始まる) | | |

問題 1 記入欄

1.

2.

3.

4.

5.

6.

7.

8.

9.

10.

11.

12.

13.

アルファベット

A a

B b

C c

D d

E e

F f

G g

H h

忘れないこと

I i

・は後でつける

J j

・は後でつける

K k

L l

何もつけない

M m

N n

O o

P p

大文字より一段下がる

Q q

R r

S s

T t

U u

忘れないこと

V v

W w

X x

Y y

Z z

☆ b と d, h と n, u と v, I と l をきちんと区別しよう。

問題2 アルファベットを正確に書いてみよう。問題文の中のA・Bは、AさんとBさんが会話していると考えて答えなさい。また、このテキストでは現在形の文のみを扱います。

1. 私は医者である。
2. あなたは看護師ではい。
3. A：彼は学生ですか。— B：はい、そうです。
4. 私は彼を愛している。
5. 私は彼を愛していない。
6. 彼は私を愛している
7. 彼は私を愛していない。
8. A：あなたは彼女を愛していますか。— B：はい、愛しています。
9. A：彼女はあなたを愛していますか。— B：いいえ、愛していません。
10. あなたのお母さんは忙しい。
11. A：あなたのお母さんは忙しいですか。— B：はい、忙しいです。
12. あなたのお父さんは野球をする。
13. A：あなたのお父さんは野球をしますか。— B：いいえ、しません。
14. 私は東京に住んでいる。
15. 私は東京駅の近くに住んでいる。
16. 私は日曜日にテニスをする。
17. 私は夏にテニスをする。

問題2 記入欄

1. _____

2. _____

3. _____

4. _____

5. _____

6. _____

7.

8.

9.

10.

11.

12.

13.

14.

15.

16.

17.

名詞



名詞

人やものの名前を表す単語

boy, student, school, love, Japan, water, Mr. Brown など

1 名詞には、数えられる名詞と数えられない名詞がある。

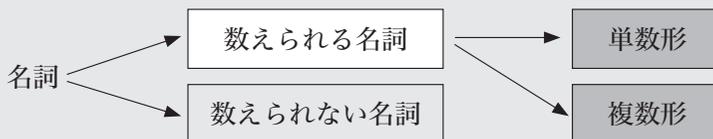
① 数えられる名詞

例) book, apple, desk, song, egg, Japanese (日本人)

② 数えられない名詞

例) air, water, snow, music, peace, Japan (日本), Japanese (日本語),
Mr. Brown

2 数えられる名詞には、単数形と複数形がある。



① 数えられる名詞の単数形：a や an など名詞の前につける。

② 数えられる名詞の複数形：名詞の語尾を変化させる。語尾に - (e)s をつける場合や、特別な形にするものがある。

③ 数えられない名詞でも「1つ、2つ…」と数えるときは、容器などを用いて表すことができる。

例) a glass of water (コップ1杯の水) , two glasses of water (コップ2杯の水)
a cup of tea (茶1杯) , three cups of tea (茶3杯)

問題 1 次の名詞のうち、「数えられる名詞」には○、「数えられない名詞」には×をつけなさい。

- | | | |
|---------------|------------------------|------------------------|
| 1. boy () | 2. tea () | 3. Yokohama () |
| 4. ball () | 5. baseball (野球) () | 6. student () |
| 7. day () | 8. dish () | 9. happiness () |
| 10. bread () | 11. Japanese (日本人) () | 12. Japanese (日本語) () |



冠詞 (1)

名詞の前に置かれ、「1つの～」(a または an) や「その～」(the) を表す単語

1 a と an の用法

a と an は、数えられる名詞の単数形につける (数えられない名詞・複数形とは一緒に使えない)。

2 a と an の使い分け

a か an は、その直後に来る語の最初の文字の発音によって決まる。

a…名詞の発音が子音ではじまるとき 例) a book, a pen

an…名詞の発音が母音ではじまるとき 例) an apple, an egg

問題2 名詞の前に a か an をつけなさい。

- | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------|
| 1. () desk | 2. () apple | 3. () pen |
| 4. () ant | 5. () eraser | 6. () baby |
| 7. () tomato | 8. () book | 9. () egg |
| 10. () uncle | 11. () uniform | 12. () umbrella |
| 13. () university | 14. () UFO | 15. () umpire |
| 16. () hotel | 17. () hour | 18. () horse |
| 19. () Japanese (日本人) | 20. () American (アメリカ人) | |



冠詞 (2)

1 the の用法

① the は、a や an と違い、単数形でも複数形でも、数えられる名詞でも数えられない名詞でも、一緒に使う。

例) I like the book.

I like the books.

I drink the water. (私はその水を飲む)

② すでに出てきた語を繰り返して使うときには、その語の前に the をつける。

○私は 1 冊の本を持っている。私はその本が好きだ。

I have a book. I like the book.

○あなたは1個のリンゴを持っている。あなたはそのリンゴを食べる。

You have an apple. You eat the apple.

③ 状況、場面、文脈から、その語が聞き手にとって明らかな場合に the をつける。

○窓を開けてください。

Open the window, please.

○(その)塩をとってください。

Pass me the salt, please.

④ the を発音する場合、the の後に続く語の発音が girl のように子音で始まる場合は、[ðə] と発音され、apple のように母音で始まるときは [ði] と発音される。

問題3 the を [ði] と発音するものの番号に○をつけなさい。

- | | | |
|-----------------|-------------------|-----------------|
| 1. the elephant | 2. the window | 3. the door |
| 4. the vase | 5. the umbrella | 6. the watch |
| 7. the audience | 8. the eraser | 9. the notebook |
| 10. the uniform | 11. the interview | 12. the concert |
| 13. the island | 14. the hour | 15. the object |

問題4 日本語の意味になるように、() に a, an, the のいずれかを入れなさい。

1. 私は卵を1つ持っている。その卵は新しい。

I have () egg. () egg is new.

2. これは1匹の犬だ。ぼくはその犬がとても好きだ。

This is () dog. I like () dog very much.

3. トム：お医者さんはいますか？

ジム：彼が医者だよ。

Tom: Is there () doctor?

Jim: He is () doctor.



名詞の複数形

名詞のうち、数えられる名詞は複数形にすることができる。複数形の場合、a や an はつけず、名詞の語尾が変化する。

1 複数形の作り方

① - sをつける。 desks, books, pens, eggs

② 語尾が o, s, x, ch, sh で終わる名詞には、- esをつける。

tomatoes, buses, glasses, boxes, watches, dishes

例外) そのまま sをつける。 pianos, radios, photos, videos

③ <子音字 +y> で終わる名詞は、y を i に変えてから esをつける。

city → cities, lady → ladies

注意: <母音字 +y> はそのまま sをつける。 toy → toys

④ -f や -fe で終わる名詞は、-f や -fe を -ves に変える。

leaf (葉) → leaves, knife (ナイフ) → knives, wife (妻) → wives

例外) そのまま sをつける。 roof (屋根) → roofs, handkerchief (ハンカチ) → handkerchiefs

⑤ 不規則に変わるものがある。

man (男) → men, woman → women, child (子供) → children,

foot (足) → feet, tooth (歯) → teeth, mouse (ネズミ) → mice

⑥ 単数形も複数形も同じ形のものがある。

sheep → sheep, Japanese (日本人) → Japanese, deer → deer, fish → fish

問題5 次の名詞を複数形にきなさい。

- | | | |
|---------------|------------------|-----------------|
| 1. pig () | 2. cat () | 3. table () |
| 4. rose () | 5. tree () | 6. apple () |
| 7. potato () | 8. class () | 9. dish () |
| 10. bench () | 11. hero () | 12. piano () |
| 13. boy () | 14. baby () | 15. country () |
| 16. day () | 17. lily () | 18. library () |
| 19. body () | 20. story () | 21. knife () |
| 22. wolf () | 23. wife () | 24. foot () |
| 25. child () | 26. Japanese () | |

2 複数形の発音の仕方

(1) [s] 前の音が無声音の時 books [buks], caps [kæps]

(2) [z] 前の音が有声音の時 pens [penz], dogs [dɔgz]

(3) [ɪz] 前の音が [s] [z] [ʃ] [tʃ] [dʒ] の時

buses [bʌsɪz], boxes [baksɪz], dishes [sɪʃɪz]

※複数形の s の前に t が来る場合は [ts] と発音するが、これは (1) のグループに属する。

例) hats [hæts], cats [kæts]

☆有声音は、発音するときに声帯がふるえる音で、無声音は声帯がふるえないで息だけで発音する音である。発音するときに、のどに手をあててみると違いがわかる。

無声音一息の音 p, t, f, k, など

有声音一声の音 b, d, v, g, m, n, l, r など (母音もこの中に含まれる)

問題6 次の名詞の複数形として間違っているものを正しく直しなさい。間違っていないものには、○をつけなさい。

- | | | |
|----------------|-----------------|------------------|
| 1. desks () | 2. watchs () | 3. apples () |
| 4. babys () | 5. days () | 6. Japaneses () |
| 7. foots () | 8. childs () | 9. weeks () |
| 10. knives () | 11. wifes () | 12. dishes () |
| 13. mans () | 14. tomatos () | 15. citys () |

問題7 () の中に a か an を入れなさい。どちらも使えない場合は × を入れなさい。

- | | | |
|------------------------------|-------------------------------|---------------|
| 1. () hat | 2. () water | 3. () eggs |
| 4. () women | 5. () sister | 6. () ladies |
| 7. () uncle | 8. () aunts | 9. () cup |
| 10. () banana | 11. () hour | 12. () lion |
| 13. () children | 14. () buses | 15. () purse |
| 16. I am from () Australia. | 17. My name is () Tom Brown. | |



その他の注意点

① this や that (この○○、あの○○) を表す語が名詞の前にある時は、名詞が数えられる名詞で単数形であっても、a, an をつけない。

例) この少年はトムである。

× This a boy is Tom. ○ This boy is Tom.

② my, your, his, her など、「～の」を表す語が名詞の前にある時は、a, an をつけない。

例) それは彼女のペンです。

× It's her a pen. ○ It's her pen.

例) これは私のペンではありません。

× This isn't my a pen. ○ This isn't my pen.

問題8 () の中にaかanを入れなさい。どちらも使えない場合は×を入れなさい。

1. This is () orange.
2. This () orange is small.
3. This () boy is Tom.
4. This is () notebook.
5. That () clock is black.
6. That is () clock.
7. This is my () bike.
8. It is her () cup.

問題9 下線部の名詞を複数形にした上で、全文を書き換えなさい。

1. I am a student. →

2. This is an orange. →

3. That is a sheep. →

4. That room is beautiful. →

問題10 下線部の名詞を単数形にした上で、全文を書き換えなさい。

1. They are girls. →

2. We are students. →

3. Those are erasers. →

4. Are they notebooks or textbooks? →

be 動詞



日本語と英語の違い

1 語順

<日本語> 私は 毎日 家で 英語を 勉強する。

<英語> 私は 勉強する 英語を 家で 毎日
I study English at home everyday.

英語の語順

①～は (主語) ②～する [した] (動詞) ③ [目的語] ④場所 ⑤時

日本語と違い、英語では原則として、主語の直後に動詞が置かれる。

- ・主語 (動作や様子の主を表すもの。「だれが」「なにが」)
- ・動詞 (主語の動作や様子を述べるもの。「～する」「～である」)

問題1 日本語から英語の語順に直して、英語の語順に変換する頭脳をつくろう。

例) 私は ペンを 持っている。 →私は__持っている__ペンを

1. 私は あなたを 愛する。 →私は_____
2. 私は 毎日 野球を する。 →私は_____
3. 私は 金持ち である。 →私は_____

2 文を書くときのきまり

英語の文は大文字で書き始め、文の最後には符号をつける。符号というのは、たとえばピリオド (.)、疑問文だとクエスチョンマーク (?) である。



be 動詞 (am, is, are)

1 be 動詞の用法

動詞には、be 動詞と一般動詞がある。動詞は、基本的には動作を表すが、be 動詞は、以下の場合に使う。

①主語が「どんな人」なのかを表す。

I **am** a doctor.

She **is** a student.

We **are** brothers.

②主語が「どんな状態」なのかを表す。

He **is** rich.

She **is** happy.

They **are** beautiful.

be 動詞の形

主語	be 動詞 (現在形)
I 私	am
you (単数) あなた	are
he 彼	is
she 彼女	is
it それ	is
we 私たち	are
you (複数) あなたたち	are
they 彼らは/彼女らは/それらは	are

問題2 次の主語の中で、be動詞のisを必要とするものをすべて○で囲みなさい。

they you she he I Mary it we Tom

問題3 次の主語の中で、be動詞のamを必要とするものをすべて○で囲みなさい。

they you she he I Mary it we Tom

問題4 次の主語の中で、be動詞のareを必要とするものをすべて○で囲みなさい。

they you she he I Mary it we Tom

問題5 ()内にbe動詞を適当な形にして入れなさい。

1. I () a girl.
2. You () girls.
3. They () boys.
4. He () a boy.
5. We () students.
6. It () a tiger.
7. She () beautiful.
8. Mary () a doctor.
9. Tom () busy.

2 短縮形も使ってみよう！

I am= I'm

It is= It's

We are= We're

He is= He's

You are= You're

She is=She's

They are= They're

問題6 次の文を英語に訳しなさい。

1. 彼は学生です。
2. 彼女は看護師です。
3. 私は悲しいです。
4. それは美しいです。
5. あなたは幸せです。
6. あなたたちは幸せです。
7. あなたは学生です。
8. あなたたちは学生です。
9. Tom は医者です。



否定文

1 be 動詞の否定文

be 動詞の否定文は、be 動詞の後に not をつける。

問題7 () 内に適切な be 動詞の否定形を入れなさい。

1. You ()
2. We ()
3. They ()
4. It ()
5. He ()
6. She ()
7. I ()

2 短縮形も使ってみよう！

are not = aren't

is not = isn't

I am not = I'm not (amn't としてはいけない)

問題8 () 内に適切な be 動詞の否定形を入れなさい。

1. You () wrong.
2. They () friends.
3. I () thirsty.
4. She () a student.
5. It () important.
6. He () a doctor.
7. We () teachers.
8. You () good friends.
9. I () kind.
10. She () a secretary.
11. Mary () a doctor.



疑問文

1 be 動詞の疑問文

be 動詞の疑問文は、be 動詞を主語の前に出して、最後に？をつける。

問題9 次の文を疑問文にしなさい。

1. He is a boy.
2. We are late.
3. It is black.
4. She is a nurse.
5. They are students.
6. You are a doctor.
7. You are doctors.
8. I am beautiful.
9. They are musicians.

2 疑問文に対する返答 (1)

例) Is he a teacher? (彼は先生ですか)

Yes, he is. (はい、そうです)

No, he isn't. (いいえ、ちがいます)

問題10 次は、AとBの会話である。() 内に適当な語を入れなさい。

1. A : () she a doctor?
B : Yes, () ().
2. A : () he hungry?
B : No, () ().
3. A : () it your pen?
B : Yes, () ().

3 疑問文に対する返答 (I, we, you)

① you 「あなた」の場合 → I で答える。

例) A : Are you a teacher? (あなたは先生ですか)

B : Yes, I am. (はい、そうです〈私は先生です〉) * Yes, I'm. にしない。

② you 「あなたたち」の場合 → we で答える。

例) A : Are you teachers? (あなたたちは先生ですか)

B : Yes, we are. (はい、そうです〈私たちは先生です〉)

③ I 「私は」の場合 → you (単数) で答える。

例) A : Am I a teacher? (私は先生でしょうか)

B : Yes, you are. (はい、そうです〈あなたは先生です〉)

④ we 「私たちは」の場合 → you (複数) で答える。

A : Are we teachers? (私たちは先生でしょうか)

B : Yes, you are. (はい、そうです〈あなたたちは先生です〉)

問題11 下線部に疑問文を書き、() 内に適当な語を入れなさい。

1. A : あなたは学生ですか。 _____

B : はい (私は学生です)。 Yes, () () .

2. A : あなたたちは学生ですか。 _____

B : いいえ (私たちは学生ではありません)。 No, () () .

3. A : 私は学生でしょうか? _____

B : はい (あなたは学生です)。 Yes, () () .

4. A : 私たちは学生でしょうか? _____

B : いいえ (あなたたちは学生ではありません)。 No, () () .

問題12 次は、AとBの会話である。() 内に適当な語を入れなさい。

1. A : () Mary a doctor?

B : Yes, () () . / No, () () .

2. A : () Tom hungry?

B : Yes, () () . / No, () () .

3. A : () that your pen?

B : Yes, () () . / No, () () .

4. A : () you busy?

B : Yes, () (). / No, () (). / * B の答えは 2 通り。

B : Yes, () (). / No, () ().

5. A : () I a singer?

B : Yes, () (). / No, () ().

問題13 次の文を英訳しなさい。

1. A : あなたは学生ですか。

B : はい。

2. A : 彼は医師ですか。

B : いいえ。彼は看護師です。

3. A : 彼らは有名ですか。

B : はい。

4. A : あなた方は音楽家ですか。

B : いいえ。私たちは教師です。

5. A : 彼女は親切ですか。

B : はい。

6. A : それは難しいですか。

B : いいえ。

7. A : 私たちは幸せですか。

B : はい。あなたたちは幸せです。

8. A : 私は間違っていますか。

B : いいえ、あなたは間違っていないです。

問題14 () 内の指示に従って文を書き換えなさい。

1. This is your pen. (否定文と疑問文にしなさい)

否定文 _____

疑問文 _____

(返答) Yes, () (). / No, () ().

2. She is a doctor. (she を they に変える)

3. I'm a doctor. (I を We に変える)

4. I'm a nurse. (疑問文にして yes で答える)

5. Yes, you're boys. (この文が答えになる疑問文を書け)

6. あなたたちは、私の生徒ですか。(英訳せよ)

REVIEW 1

be 動詞の復習

問題1 次は、AとBの会話である。()に適語を入れなさい。

1. A : Are you a student?

B : No, () ().

2. A : Am I a student?

B : Yes, () ().

3. A : Is Tom a student?

B : Yes, () ().

4. A : Is Mary a student?

B : No, () ().

5. A : Are you students?

B : Yes, () ().

6. A : Are they students?

B : Yes, () ().

7. A : Are Tom and Mary students?

B : Yes, () ().

8. A : Is that boy a student?

B : Yes, () ().

問題2 ①次の各文を英訳しなさい。その英文を②否定文にしなさい。③疑問文にしなさい。

1. あなたは学生である。

2. 彼らは学生である。

3. 私たちは学生である。

4. あなたたちは学生である。

5. 君は学生である。

6. 彼女は学生である。

7. 俺は学生である。

8. 君たちは学生である。

9. これはカメラである。

10. あれはカメラである。

11. これらはカメラである。
